

仕 様 書

1. 事業名

3D計測による仏像データ保存活用事業

2. 目的

県内に所在する国宝・重要文化財に指定される貴重な仏像や、塑造・乾漆造などの脆弱な素材の仏像を対象に3Dデータ計測等による記録保存を行い、き損に備えるとともに、データをもとに模造、復元模造、構造模型、CGによる復元画像等の製作を行い、展示や教材として広く活用する。

3. 概要

<全体計画>

- ①県が提示する候補リストを参考に、計測可能な対象を選定する。
- ②候補物件の現地確認調査を行い、作業の安全性や所有者の受け入れ体制を確認したうえで、選定した対象物件について計測を行う。作業は原則現地で行い、所在地から対象物件を移動させることはしない。なお、計測対象が所在する各市町村に対し、事前の連絡調整及び必要に応じた対応を行うこと。
- ③デジタルカメラで計測作業前の現状を撮影し、保存状態を確認する。
- ④3D計測を行う。
- ⑤必要に応じX線撮影・蛍光X線撮影を行う。
- ⑥計測データを解析し、図化を行う。
- ⑦計測を行った物件の中から以下のものを製作する。
 - ・現状模造（通常拝観しにくい仏像）
 - ・復元模造（当初の姿から大きく変化している仏像）
 - ・構造模型（木寄せの構造等がわかりやすい仏像）
 - ・CG（彩色等の復元がある程度可能な仏像）

<平成30年度>

- ・10件相当の物件を対象に①～⑥を行う。
- ・30秒の簡易アニメーションを製作する。
- ・⑦を含め提案した活用方策の現状模造、復元模造、構造模型のうちいずれか1点以上及びCGを1点以上製作する。

4. 事業期間

<全体計画>

平成28年度～平成32年度

<平成30年度>

契約日～平成31年3月29日

5. 成果物

<全体計画>

- ①現状写真（出力プリント及びデータ）
- ②図面（陰影図）

- ③テクスチャ付3Dデータフォーマット (DXF・OBJ・STL・FBX)
- ④現状模造
- ⑤復元模造
- ⑥構造模型
- ⑦CG (彩色等復元)

<平成30年度>

- ・①～③
- ・制作したテクスチャ付き3Dデータを任意の角度で表示できるアプリケーション
- ・30秒の簡易アニメーション
- ・現状模造、復元模造、構造模型のうちいずれか1点以上及びCGを1点以上

5. 応募条件

- ①過去に仏像の3D計測および解析、図化を行った実績があり、「調査責任者」として「仏像」を専門とする教員または研究者がいること。(正規に限る)
- ②「調査員」として、「仏像」を専門に学んだ大学院修士以上もしくは同等の研究歴を有するものを調査期間の全般にわたり2名以上確保できること。(非正規でも可)